

変革の時代に挑戦する観光・みやげ業界

「連盟の3大事業について。どのような感想をお持ちか。池田 ますは、東日本大震災や台風12号など一連の自然災害で、被害を受けた方々にお見舞いを申し上げたい。連盟の事業が、まず、物づくりのおみやげアカデミーは、1回目から前回の第6回まで出品総数700、うち200品目を受賞された」と聞いている。長く続いており、成果が出てきたと思う。

「数多くのオンライン」を目指し、連盟がその精神をみながら共有して、一体となって取り組んできた成果だと思ふ。

前回は「身近なもの」「売れるもの」を受賞対象とし、またアジアからのお客さまを意識して、中国、韓国の方を特別審査員に登用した。みやげみらい委員会の管轄にも出ていたが、これからは個人とインバウンドのお客さまを意識しなければなら

JTBと協定する全国のみやげ店で組織するJTB旅行スタンプ加盟店連盟(700会員)は9月13日、東京の京王プラザホテルで通常総会を開き、「日本おみやげアカデミーグランプリ」「みやげ塾」「みやげみらい委員会」の3大事業を今後も推進するなど今年度の事業計画を承認した。総会を終え、連盟の小野寺邦夫会長(岩手県・平泉レストハウス社長)に今後の組織運営、JTBの国内商品企画、仕入販売事業を統括する池田浩執行役員・旅行事業本部副本部長に連盟と会社の連携策などを聞いた。(聞き手=本社・森田淳)

連盟事業の進捗状況をうかがいたい。連盟は「日本おみやげアカデミーグランプリ」「みやげ塾」「みやげみらい委員会」の3大事業を推進している。

小野寺 3つの事業のうち、リンクして、順調に推移していると思う。これをさらに深化させなければならぬ。また、事業は長く続けていくと、メンバーに飽きものが出てくる。また、切り口を変えて臨むことが必要だ。それぞれの事業の委員会の中で議論してもらいたい。

「優れたみやげ品を表彰する日本おみやげアカデミーグランプリは、第7回を予定していたが、震災の影響で2年後の実施となった。小野寺 震災により加盟店が同じ条件で参加できなくなっていることから、止むを得ず1年先送りとなった。毎回審査会場とさせていたという旅フェアが次回の1年間の猶予期間ができたわけだが、その間、アカデミーの運営委員

ないというところで、時代を意識した展開だと理解している。次の第7回は、震災の影響も考慮して、本来であれば来年度の予定だったが、1年間準備期間を設け、2013年に開催するということが決まった。まずまず活性化しておみやげアカデミーが開催できればいいと思うし、連盟の皆さまが取り組んでいるこの事業が、もっとメジャーになるように、我々としてもつながりのある媒体や機関にさらさらアピールしたいと思ふ。

みやげ塾は、この業界でも最も重要な人づくりに取り組んでいる。人材を育てていかないと、業界そのものが育っていかないと。思ふ。

の育っていかないと。思ふ。まずは、17回開講して、339人が受講して全国で活躍されている。今後とも内容をさらにグレードアップして続けたい。我々も講師の派遣や講師のアイデアを出すなど協力していきたい。

最後のみやげみらい委員会だが、業界の将来のために、いち早く組織を立ち上げたこと、動きの早い、結束力のある連盟だと感じている。我々も情報をお互に共有して、我々も変わるべきところは変わって、その時々で対応が重要だが、個々の店では考えられないような、業界全体の将来の方向性を考えることも非常に重要だ。

委員会がある程度の方向性は出ていく。これからは、それを具体化する時期と。思ふ。我々も担当が委員会に出席させていたという、情報交換をしたりしている。これからともに、具体策を検討していきたい。

委員会は、あくまでJTBにしろ、柔軟な発想で議論をしてほしいと聞。ぜひ、新たな発想があった時には、我々に情報をお互に共有して、我々も変わるべきところは変わって、その時々で対応が重要だが、個々の店では考えられないような、業界全体の将来の方向性を考えることも非常に重要だ。

JTBは国内旅行の構造改革を進めている。連盟とのかわりはどうなる。池田 JTBの構造改革のポイントを、ひとつに、各地域の会社のミッションが一部変わったこと。地域からの「発」のビジネスに加えて、その地域にお客さまを呼び込む受け手も評価の対象になった。中期経営計画において、会社が最終的に目指すところは「DMC(ステーション・マネジメント・カンパニー)への進化」にしている。私は、地域経済の活性化に貢献できる会社を目指すと理解している。だから、その第一歩を踏み出したのが

回の構造改革だと思っている。地域の事業会社は、地域の方々とお客さまをいかに誘致するかを考えていく。着地のコンテンツを開発したり、地元ならではの魅力を発信したりといった動きが各地域の会社に出始めている。連盟の皆さまは、各地域の会社とどう連携をしていければいいか、そのほか連盟に期待すること

池田 我々がするべきことは、まずは基本である団体旅行やメディア・商品。また相当のボリュームがある。団体のお客さまは連盟の皆さまを促していただきたい。

盟店になってきたかと呼びかけている。ただ、ほかにも、何かの仕組みを考えていかなければならない。さらに言えば、連盟も会社も互いに無理のない、シンプルな仕組み。そういった仕組みを連盟の皆さまと考えていき

インバウンドについては、銀聯(ぎんれん)カードに対応できるC-REX端末の活用を期待したい。中国の方はおみやげにたくさんお金を使われる。みやげ業界にとっては非常に可能性がある分野だ。銀聯カードを受け入れて非常に成功しているお店がある。そういった成功事例を促していただきたい。

外国語表示や、可能であれば外国語ができるスタッフの配置もお願いしたい。

中国の方は「MADDE IN JAPAN」を非常に好まれる。加賀の高麗な漆器や静岡の高級なお茶を大量に買われたりしている。海外にアピールできる商品や素材がまだまだ潜在していると思うので、ぜひ掘り起こしてほしい。

最後に、厳しい経営環境にあるみやげ業界にエールを。

池田 どの業界も先が見えず厳しい状況だ。互いに連携して、アイデアを出して、相互理解し、地域に貢献するという社会的使命を果たしながら、互いに利益を上げていくことを目指していきたい。

共に業界発展に向け、邁進しよう。

地域に貢献し、互いに利益を

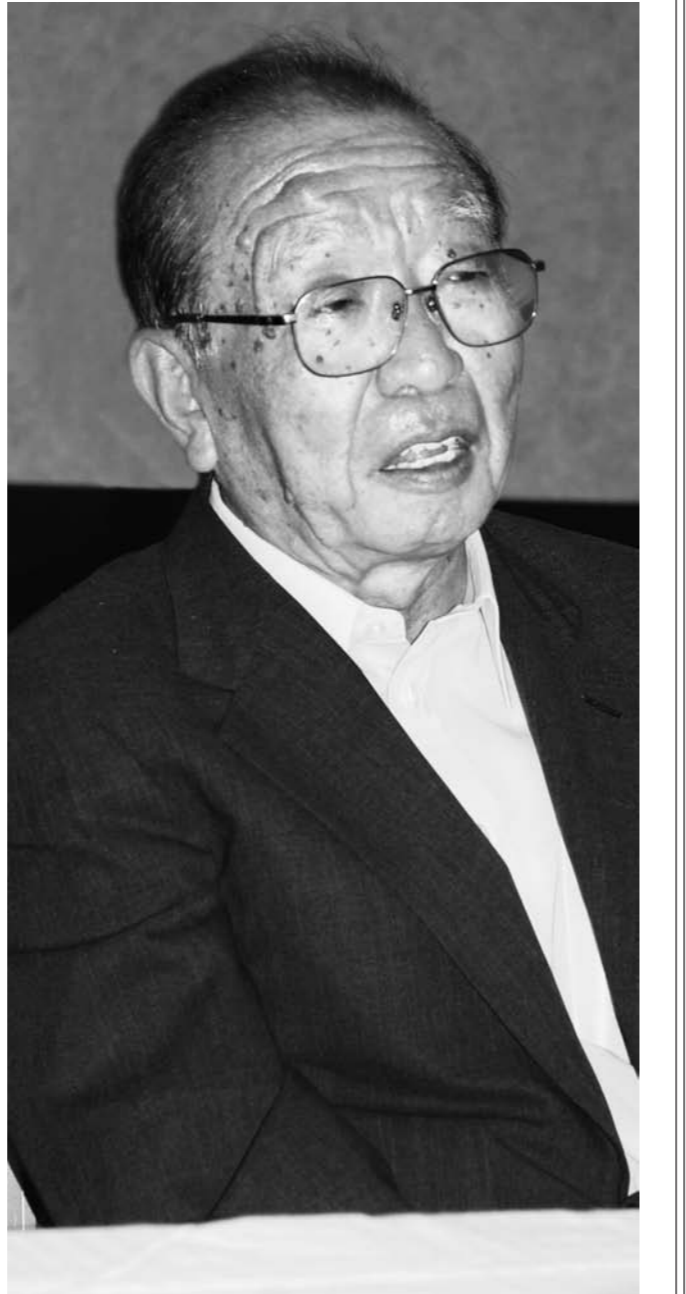


JTBグループ本社執行役員 旅行事業本部副本部長 池田 浩氏

のどこに送りやすいのか、それは何か維持したい。

ただ、それだけではお客さまは減ってしまう。ポイントとしては、みやげみらい委員会も提言している通り、個人やインバウンドのお客さまをいかに取り込み、連盟のお店にお送りするか。個人旅行の「エクス」は年間1千万人のボリュームがある。

今、我々がやっているひとつは「トラベルポイント」制度。全国に150万人の会員があり、JTBや提携店で買い物をして、ポイントを集めている。店にとってもお客さまにとってもよい制度なので、連盟の皆さまには、トラベルポイントの加



JTB旅行スタンプ加盟店連盟 会長 小野寺 邦夫氏

小野寺 私も東北の岩手県で店をやっているが、3月1日から50日間の予約はすべてキャンセルになり、閑散とした状態になった。ゴールデンワークの売上は前年の85%減。本当に辛かった。しかし、沿岸部や原発事故の影響があった地域は、もっと大変な苦境を苦しめていると思う。お見舞いを申し上げます。ただ、今回の震災によって、前向きな社会現象が表れた。

避難所で食料が来るのを熱心と待っている被災者の姿や、被災者同士が助け合う姿を世界が驚嘆している。うちの食堂に来るお客さまは、帰りに「ごちそうさま」と言う方がいたのだが、最近「ありがとう」と言う方がいらっしゃる。これは驚くべきことだ。

そして店では数珠や線香など、おみやげが特需的に売れている。人々が、人と人の連帯感、絆を大事にしたいのだ。今までも自分と家族と2つのみやげが買わなかった人が、向こう三軒隣り、

5つ6つのみやげを買っていくようになるかもしれない。我々にとってもある意味チャンスで、これを逃してはいけない。

復興に向けて取り組むべきこと。小野寺 できるだけ被災地のものを売って、お互いが元気になれる。いい。うちでは「かめめ玉子」(岩手県大船渡市の菓子)や、200年続いた味噌醬油、今回奇跡的に酵母が残っていた八木澤商店(岩手県陸前高田市)の商品を扱っている。

JTBに期待することは。小野寺 何となくでもビッグエージェンシー。これまでも通り、我々をいかに方向に導いてほしい。そしてさらに連携を深めて、互いに発展していければいい。

連盟に望むことは。小野寺 今回の震災は、被害を受けた人々には大変だが、物事をじっくり考えるいい機会になったかもしれない。

連盟の使命は会員の利益を追求することだが、原点に戻り、会員のすべてが発展していきけるような事業を今後進めたい。会員の皆さまのご協力をお願いしたい。

原点に戻り、さらなる発展へ

会とみやげみらい委員会、審査方法も含め、新しい切り口を考えた方がいい。

アカデミーの受賞商品の販売促進という課題もある。

小野寺 楽天の三木谷社長が、本で「インターネット大陸」という言葉を使っていた。世界にはもう一つの世界がある。インターネットという時代が来たという感じがする。インターネットにどう対応するか

という議論も行ってきたと思う。みやげ業界の人材育成を行うみやげ塾については。小野寺 角度を変えて検討する必要がある。塾はこれまで7回開いているが、連盟の全国25支部に、均等に受講生の派遣をお願いしてきた。ただ、すべてにおいて、レベルが高いとは限らない。今回は北海道の人向け、今回は九州の人向け、というみやげ塾があってもいいと思う。

連盟の新しい事業は。小野寺 今回の時局では考えていないが、みやげみらい委員会の議論の中で新たな方向性が生まれてくると思う。

今回の東日本大震災で連盟も大きな打撃を受けた。

JTB旅行スタンプ加盟店連盟特集 57面

神話と伝説に彩られた峡谷の郷 高千穂

株式会社 千穂の家

〒882-1103 宮崎県西臼杵郡高千穂町高千穂峽 TEL 0982-72-2115 FAX 0982-72-3344 E-mail info@takachiho.gr.jp ホームページ http://www.takachiho.gr.jp

千穂の家グループ

- 昭和34年創業(元祖 流しそばめん)「発祥の地」郷土料理・地場特産品・観光土産品 レストハウス 千穂の家 お食事処 まない
- なつかしき民俗の伝統を今に伝える(古民家集落) 高千穂の夜神楽公開・スローフード
- ふる里の茶屋 神楽宿 ふる里茶房 石の蔵 民芸の里 花かぐら めん処 鬼ハ
- お料理とご接待に真心を添えて(日本一の朝食) 社の宿 ホテル四季見 TEL0982-72-3733 FAX0982-72-3503

グランプリ賞

さぬき巻物うどん うどんの生地を麺棒に巻きつけた巻物うどん。自分で好きな太さに切って食べられます。

企画賞

中野うどん学校セット 麺棒と中力粉、塩、秘伝帳のセット。ご家族でうどん作りを楽しめます。

中野うどん学校(琴平校) TEL: 0877-75-0001 FAX: 0877-75-1155

中野うどん学校(高松校) TEL: 087-885-3200 FAX: 087-885-3800 http://www.nakanonyanet

第1回日本おみやげアカデミー賞

岐阜県城下町・郡上八幡...

時の雫が刻んだ大自然の造形美

大滝鍾乳洞

〒501-4205 岐阜県郡上市八幡町安久田2298 Tel 0575(67)1331 Fax 0575(65)3950

東海北陸道美濃IC入口 美濃和紙と問の刃物の専門店

美濃関物産館

FaxTEL岐阜 50113253 0575533522 0575533522 0575533522

代表取締役 河合 徹

代表取締役 鈴木 悌介

神奈川県小田原市風祭二四五 風祭店 〇四六五二四一三二四 〇四六五二四一三二九一

http://www.kanaboko.com

世界遺産 平泉

中尊寺門前 平泉レストハウス

レストラン・フードコート・平泉文化館・ショッピングコーナー

東北自動車道諏訪サービスエリア7下線・東天市場奥州平泉上産地ジャンプ

株式会社 平泉観光レストセンター

http://hiraizumi2011.jp/ TEL 0191-46-2011

World Heritage HIRAIZUMI 2011

数多くのオンリーワンをめざして

日本おみやげアカデミーグランプリ



前回(第6回)の発表表彰式

優れたみやげ品を表彰する2年1度の実業「日本おみやげアカデミーグランプリ」。今回の第7回は2年後の2013年に開催されることになった。本来ならば来年の実施だが、東日本大震災の影響で2年間の準備期間を設けることにした。運営委員会では、さらに充実した事業にするため、準備期間で新たな取り組みを検討している。

事業は「どこへ行くにも同じみやげ品」を消費者に提供し、その品質を向上させること。また、その地域にしかない「オンリーワン」商品の開発を進めようとする。JTB旅行・観光研究会(現観光研究会)の調査研究委員会(発展的解消)と、若手経営者による「アカデミー」の設立がきっかけで、観光研究会が主催する「アカデミー」が発案された。優れたオリジナル商品の開発促進で消費者の購買意欲を高め、販売を拡大する。また、観光業界の地位向上、プライド回復を図ろうという狙いもある。2000年に第1回を実施。以来、隔年で行われている。

毎年、連盟会員など全国のみやげ店に商品のエントリーを募り、そのなかから審査員、最高賞のグランプリをはじめ、アイデア賞、デザイン賞、ネーミング賞、地域文化賞などの各賞を決めている。

第1次審査は旅の総合イベント「旅フェア」で、エントリー全商品を展示し、有識者で構成する審査選考委員会(委員長は前田勇・立教大学名誉教授)と、旅フェアの一般来場者の採点で2次審査に進む商品を選んでいる。最終の2次審査は審査選考

グランプリ受賞商品

(第1回～第6回)

※第5回食品部門は該当商品なし

 第4回食品部門 釜子焼酎(岩手県・釜子焼酎共販センター)	 第2回食品部門 やくし(鹿角島・屋久島観光センター・タートレイン屋久島)	 第1回食品部門 さぬき巻物(香川県・四国薬草ハーブセンター)
 第5回食品部門 秋化餅(山口県・観光会館安富屋)	 第3回食品部門 きりたんぼ(秋田県・まのたね工房・田園市場 秋田美人)	 第1回食品部門 北の聖少女(北海道・北の森カレン)
 第6回食品部門 借金なし お豆の漬物(埼玉県・万寿庵)	 第3回食品部門 音くくり(栃木県・釜子焼酎かもと)	 第2回食品部門 海産物(沖縄県・琉球城壁公園)
 第6回食品部門 キャンドルスタンド ウサギ(岩手県・岩鉄器館)	 第4回食品部門 まぐろのロール(鳥取県・大魚市場なかつら)	 第2回食品部門 松茸(岩手県・松茸本舗)

みやげ業界の地位向上、販売拡大へ

みやげ店から食品317品、非食品95品、計412品がエントリー。このうち63品が第2次審査に進み、延べ40品が賞を受賞した。また政府が進めるピシット



旅フェアの来場者による第1次審査



審査選考委員による第1次審査



試食・試飲を行った第2次審査



審査選考委員の協議で各賞を決定した

第7回は2年後 2013年実施

「第7回は2年後 2013年実施」

ウインド賞を創設。前回はゲスト審査委員を中国、韓国から招いた。外国人の視点から賞にふさわしい商品を選んでもらった。

受賞した商品は各地で新聞など地元メディアに取り上げられるなど、販売促進で成果を上げていく。今後はさらなる販促に向けて、JTBとのタイアップやインターネットの活用など、連盟本部で様々な施策を考へる意向だ。

第7回は2年後 2013年実施

「第6回日本おみやげアカデミー」実行委員会(委員長は前田勇・立教大学名誉教授)は、2013年実施の第7回は2年後、2013年に開催されることになった。本来ならば来年の実施だが、東日本大震災の影響で2年間の準備期間を設けることにした。運営委員会では、さらに充実した事業にするため、準備期間で新たな取り組みを検討している。

事業は「どこへ行くにも同じみやげ品」を消費者に提供し、その品質を向上させること。また、その地域にしかない「オンリーワン」商品の開発を進めようとする。JTB旅行・観光研究会(現観光研究会)の調査研究委員会(発展的解消)と、若手経営者による「アカデミー」の設立がきっかけで、観光研究会が主催する「アカデミー」が発案された。優れたオリジナル商品の開発促進で消費者の購買意欲を高め、販売を拡大する。また、観光業界の地位向上、プライド回復を図ろうという狙いもある。2000年に第1回を実施。以来、隔年で行われている。

毎年、連盟会員など全国のみやげ店に商品のエントリーを募り、そのなかから審査員、最高賞のグランプリをはじめ、アイデア賞、デザイン賞、ネーミング賞、地域文化賞などの各賞を決めている。

第1次審査は旅の総合イベント「旅フェア」で、エントリー全商品を展示し、有識者で構成する審査選考委員会(委員長は前田勇・立教大学名誉教授)と、旅フェアの一般来場者の採点で2次審査に進む商品を選んでいる。最終の2次審査は審査選考

賞	区分	商品名	出品店	所在地
グランプリ	食品	借金なし お豆の漬物	万寿庵	埼玉県
	非食品	キャンドルスタンド ウサギ(黒)	岩鉄器館	岩手県
準グランプリ	食品	シーゼージ(プレーン、チリ、ハーブ)	小田原鈴鹿風祭店	神奈川県
	食品	おみやげさんがつくったパスタソース	潮騒の館 やし楼	福井県
アイデア賞	食品	切れる板わさセット	小田原鈴鹿風祭店	神奈川県
	非食品	ミニワイン3本セット	浅間園	山梨県
デザイン賞	食品	ゆずピリスコ	ゆずいん菓子工房 五衛門	大分県
	非食品	ブチはさみ	関刃物センター	岐阜県
ネーミング賞	食品	ペビドレストアル	タカノ美術館 ICHIRO	愛媛県
	非食品	本べつ甲張「千支のストラップ」	江崎べつ甲店	長崎県
地域文化賞	食品	平泉金宝漬	平泉レストハウス	岩手県
	食品	長期貯蔵焼酎 旭川 3.5%	大雲乃蔵	北海道
インバウンド賞	食品	黄金金婚漬	道奥 金婚亭	岩手県
	食品	のんご黒 有田焼 四季の華 6:4カップセット	有田ホーセリンパークののこの郷	佐賀県
審査員特別賞	食品	九谷和グラス	九谷満月	石川県
	食品	ざ・陽子の目かくし	美濃陶物産館	岐阜県
環境賞	食品	九谷焼USBメモリー「電子陶箱」	九谷満月	石川県
	食品	白黒ハッキリするめ	北の森ガーデン	北海道
健康増進賞	食品	馬鹿やローカレー	えりも岬観光センター	北海道
	食品	該当商品なし		
旅先でお土産として買ってみたい賞	食品	秋田杉メッセージストラップ	平泉レストハウス	岩手県
	食品	白馬の王子さま	ピアンテ信州中野店	長野県
環境賞	食品	レンジでポンシリーズ(3種)	海鮮市場 北のグルメ	北海道
	食品	各ブロック優秀賞	北の漁場 札幌場外市場1号店	北海道
健康増進賞	食品	心配しないで下さい。北海道の市場で元気に働いています。		
	食品	食用ほおずき「ほおずきんちゃん」	龍泉洞観光会館	岩手県
健康増進賞	食品	ジャムとスイーツのギフトセット	共同展示館つばめ	新潟県
	食品	するめが焼け太(大)	関刃物センター	岐阜県
健康増進賞	食品	皮むき	関刃物センター	岐阜県
	食品	京野菜焼酎 聖徳院かぶら	京つげもの 大安本店	京都府
健康増進賞	食品	秋焼き 多用途「夢小鉢」	観光会館 安富屋	山口県
	食品	シイラの生ハム	はまぐり基の里	宮城県
健康増進賞	食品	黒糖かなさフェアリーブラウン	沖縄アウトレットモール あしひな	沖縄県
	食品	金箔入り「日光カステラ」(ハニーマ味 大)	登壇日光店	栃木県
健康増進賞	食品	金箔入りロックグラス	登壇	石川県
	食品	スチームポイル毛がに 和紙包み 箱入り	函館朝市 栄屋	北海道
健康増進賞	食品	携帯はし&ケース	恵那峡山菜園	岐阜県
	食品	屋久杉 しおり 屋久島のひととき	柳田工芸社 杉匠	鹿児島県
健康増進賞	食品	なごみしーと	舞台峰観光センター	千葉県
	食品	恋人の聖地チョコレートマウンテン	ザ・フィッシュ	岐阜県
健康増進賞	食品	飲んで「香茶」うれしい〜のお香って「香茶」うれしい〜のお	嬉野陶彩館	佐賀県
	食品	笹切りカット極太たらばがに足(浜ゆで 冷凍)700g前後	海鮮市場 北のグルメ	北海道
健康増進賞	食品	紅いもタルト(18個入り)	御菓子御殿 恩納店	沖縄県
	食品	牛たんいぶりおつまみカット	伊達の牛たん本舗 宮城インター店	宮城県
健康増進賞	食品	メロン熊 ストラップ&マグネット	北海道物産センタータラバ店	北海道
	食品	本べつ甲張「千支のストラップ」	江崎べつ甲店	長崎県
健康増進賞	食品	輪島塗しおやず漆器工房	輪島塗しおやず漆器工房	石川県



発表を受けて表彰台に向かう受賞者